

2/12 ふれ愛タウン推進会議を開催



豊頃町ふれ愛タウン推進会議が、夢館交流室で開催され、委員等からの意見に係る町の考え方(回答)について、「第5次豊頃町まちづくり総合計画(第3編基本計画見直し)(案)」について及び「第5次豊頃町まちづくり総合計画【後期実施計画】(案)」について審議が行われ、両案について同意されました。また、12月24日の諮問を受け、山口良一会長から按田町長へ答申意見書の提出もあわせて実施されました。

2/9 大津小の児童が避難所を体験



大津地域コミュニティセンターで、大津小学校児童による避難所体験活動が行われました。実際に災害時に使用する段ボールベッドやパーテーションを町防災担当職員の指示に従い、みんなで協力して組み立てました。子どもたちは組み立てた段ボールベッドの寝心地を体験し、「硬いけど寝れそう」と感想をこぼしました。最後に、何を備えるべきかお話を聞き、子どもたちの防災へ意識を高めるきっかけづくりとなりました。

2/9 除雪専用車の入魂式が行われました



町民の冬の暮らしを守るために、除雪専用車(トラック)が納車され、同日除雪車車庫にて入魂式が行われました。

今回導入された除雪専用車は、吹き溜まりによる雪の大切な影響が大きい路線などに対応するため配備された車両で、より円滑な除雪作業が可能になります。

入魂式に出席した按田町長は、「限られた除雪時間の中で安全運転に心掛け、交通網を確保してほしい」と話し、お酒で車両を清めました。

2/13 冬道運転講習を実施



株式会社アイシン豊頃試験場内に作られた氷上テストコースで、「冬道の運転技能講習」が開催されました。(株)アイシン様およびエフティテクノ(株)の協力のもと、参加者はFF駆動車やFR駆動車、四輪駆動者など数種類の車を運転しました。指導員の指示のもと、敢えてアクセルやブレーキを踏むことで氷上での滑りやすさや駆動式の違いによる特性を体験し、冬道における安全な運転技術を学びました。

2/12 給食への無償提供をいただきました



工房みずく様より、豊頃町産の食材にこだわって作られた福神漬け3.5kgが町給食センターへ無償提供されました。提供された福神漬けは、町内の保育所及び小中学校の3月の給食で使われる予定です。

2/12 第2回国保運営協議会が開催



令和7年度第2回豊頃町国民健康保険運営協議会が開催され、豊頃町国民健康保険税条例の改正(案)等について審議されました。また12月18日の諮問を受け、熊野幸雄会長から按田町長への答申もあわせて実施されました。協議会開催に先立ち熊野会長は「国の改正を踏まえた条例改正、特別会計予算の制定となっている。忌憚のない意見をいただき、より良いものにしていきたい」と話していました。

2/11 オリジナル力士で熱戦が繰り広げられる



第11回巨大紙ずもう大会(豊頃町青少年育成連絡協議会主催)が行われました。町内の小学生19名が参加し、グループごとに色や細部の装飾までこだわりながら、唯一無二の力士を完成させました。

後半は完成した力士を土俵に上げて試合が行われ、子どもたちは土俵をたたき位置や強さを変えるなど、戦略的に勝負に臨み、白熱した戦いが繰り広げられました。戦いの末、優勝力士に輝いたのはポケモンのヤドキングをモチーフとした「ヤドキング海」でした。デザイン賞にはゴジラを模した「ゴジラ山」が選ばれました。

2/2 牛首別農事組合が排雪奉仕



地域貢献として、牛首別農事組合(坂口真也組合長)の組合員15名が、町内14か所の公共施設敷地内に大きく積まれた雪を取り除く、排雪ボランティアを行いました。

午前8時30分から始まった作業は、ダンプ9台とタイヤショベル6台で手際よく行われ、約180台分(約1,440㎡)の雪が運び出されました。

作業開始前には、按田町長が現場を訪れ、厳しい寒さの中で作業に当たる組合員の方々に、感謝と激励の言葉を贈りました。

平成19年から始まったこの活動は、今年で19年目を迎えます。

2/5 エゾシカ一斉駆除が始まる



農作物等の被害を防ぐため、例年実施されているエゾシカの一斉駆除が始まりました。2月5日の初日、長節酪農センターに集まった豊頃町猟友会のメンバー22名に対し、按田町長は「安全に気をつけて、事故がないように取り組んでいただきたい」と激励しました。

2/3 茂岩保育所で鬼退治



茂岩保育所で豆まき会が行われました。子どもたちは色とりどりの手作りのお面を身に付け、はじめに豆まきの練習をしました。その後、鬼が登場すると、怖がりながらも真剣な表情で負けじと豆まき、鬼を退治しました。

1/27 豊頃町産小麦粉を寄附



豊頃町在住の遠藤 亘さんから給食センターに小麦粉の寄附がありました。

遠藤さんは「面白農業組合TOYOKORO Z」として豊頃町産の大豆と小麦を原料とした木桶仕込み醤油を製造していて、小麦を子どもたちに食べてもらいたいという気持ちから寄附をいただきました。遠藤さんは「地元のことを考えて食べてもらいたい」と話していました。寄附のあった小麦粉は2月の給食でうどんとして提供されました。

広報とよころ

社協だより

役場だより

広報とよころ

社協だより

役場だより